

富山県アンテナショップ「日本橋とやま館」で、
第2回『市民がつくるたのしい鋳物』の
作品 270 点を展示販売します。

一産学官連携事業 やさしい・いものプロジェクト

展示販売：2023年2月27日（月）～3月12日（日）

10:30～19:30、最終日は18:00まで

ワークショップ：会期中の土日は会場で鋳型づくりが体験できます。

展示会場：日本橋とやま館

（東京都中央区日本橋室町 1-2-6 日本橋大栄ビル 1F）

主催：・やさしい・いものプロジェクト実行委員会

（株）能作、オタヤ開発（株）、富山大学芸術文化学部、高岡市デザイン・工芸センター）

・日本橋とやま館

後援：NPO 法人たかおか共創ネット

出品点数：270 点（今年度参加者 70 名：小学生から 70 代の市民）

詳細は以下の芸術文化学部 HP に掲載しております。

<https://www.tad.u-toyama.ac.jp/archives/campuslife/6539>



1 市民参加型（市民主役）のものづくり

初心者の市民が鋳物作品を思い思いにつくり、それらを販売することは、初めての試みで、昨年2月の御旅屋セリオ会場での第1回展につづく第2回展です。

作者の楽しい気持ちが作品になり、その気持ちに心が動いて市民が購入し、使いながら磨いて光らせて楽しむ、というプロジェクトです。

市民目線で、個人の自由な感性で作られた作品は、これまでにない新鮮な驚きを与えます。作者の楽しい気持ち、柔軟な心は見る側に伝わります。

職人がつくる製品を販売してきた高岡銅器にこれまでには無かった取り組みで、銅器産業の新たな萌芽となることを期待しています。

2 市民がつくる鋳物の魅力

長期に続くコロナ禍や地球環境、世界情勢のなか、私たちの暮らしを取り巻くさまざまなことに多くの人々が閉塞感を感じています。

このプロジェクトの「生型鋳造法」は、高岡短期大学以降、芸術文化学部に継続して独自に改変した方法です。これまでの高岡銅器には無かった要素である「一瞬のひらめきと偶然による世界に一つしか生まれぬ鋳物」は新しい製品を生み出します。そして誰にでもできるお手軽さが魅力です。

展示作品には、社会の息苦しさを吹き飛ばす、市民の「力強さ」「豊かさ」が感じられ、見る者に元気を与えてくれます。

世界の他には無い歴史と規模をもつ鋳物産地である「高岡銅器」。その産地だからこそできるプロジェクトです。銅器製品の需要が低下する社会変化のなか、『市民がつくるたのしい鋳物』は新しい道への第一歩です。

3 お願い

第1回の御旅屋セリオ展では、展示250点のうち約100点が市民に購入されました。この好結果を受けて、このたびは「日本橋とやま館」で第2回展を開催いたします。会場を移してより多くの市民、様々な方々にご覧いただき、この新しい鋳物作品の「需要」を確認したいと思います。

マスコミ各社のみなさまには、何卒宜しくお願い致します。

※やさしい・いものプロジェクトの担当者や、日本橋とやま館の担当者などへのお問い合わせも含め、ご不明な点は以下へご連絡ください。

【本件に関する問い合わせ先】
富山大学人社芸術系総務・学務課（研究協力チーム）
メール tiikiko@adm.u-toyama.ac.jp
TEL. 0766-25-9117（長井）